

5

モデル事業導入の影響と効果



ここでは平成 20 年度の実施成果として、各プログラムの主な目的ごとに、参加者の感想やアンケート結果による知見等を交えて、その成果を概観します。

企業実習における成果

現場見学と現場実習による企業実習は、栃木県では 18 回実施し、生徒延べ 223 名が参加、また群馬県では 6 回で 242 名参加しました。生徒の感想やアンケートから概ね目標通りの効果を生んだことが伺われます。

①建設業に対する興味や関心を高める

参加生徒からは、実際に働く人の話を聞き、現場を目にすることで、建設業に親近感が増した、現場の理解も深まったという声が多く聞かれました。またアンケートでも、建設業への就労意欲は実習前よりも高まっていることが伺われました。

【参加者からの評価】

- 最初は不安だったが、実際実習が始まると会社に行くのが楽しみになった。この経験を経て、建設業への興味が深まった。
- 充実した実習内容に 10 日間で物足りなく感じた。土木という仕事には色々な内容があることを知り、土木の仕事にとっても興味が湧いてきた。
- 現場の技術者の方から、将来に向けての話や資格取得、進路についてなど、貴重なアドバイスをいただき、進路を考える上で、とても参考になった。



アスファルト舗装試験の実習風景
(今市工業高等学校)

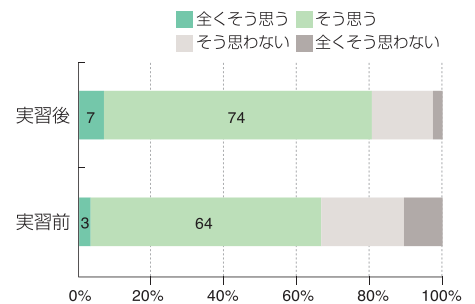
②学習意欲の向上

参加者は、1、2 年生が主体でしたが、建設現場での実習等を通し、授業で習った知識を深めることができたという意見が大半を占め、また、建築を学習することに対する目的意識が明確化したという効果を生みました。

【参加者からの評価】

- 座学では触れられない今回の実習を忘れないで、しっかりと学習に活かしたい。
- 実際の現場は、教科書とは違いとても具体的で、違った視野から見ることができた。
- 建物が出来上がる過程が実感でき、感動した。

建築を学習する事について目的は明確か



(出所) 群馬県の企業実習生へのアンケート結果より

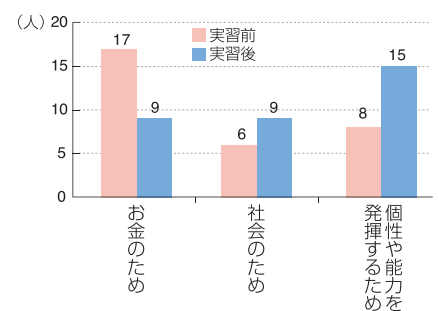
③職業感・勤労観の育成

群馬県のアンケートでは、働く目的を「お金のため」とする回答が半減し、代わって「個性や能力を発揮するため」が倍増するなど就労感が変化。また体験を通して働くことの充実感を感じる姿が見られました。

【参加者からの評価】

- 建築の仕事は、しっかりとした作業手順で、迅速かつ正確に作業を進めなければならないことを改めて知った。とても魅力的で誇りの持てる職業だと感じた。
- 出会った建築士に素敵な感性が備わっていると感じた。人に感動を与える人間になりたいと思った。
- 社会に出てからは、他の人との協力がなければうまくやっていけないんだと感じた。

人は何のために働くと思うか



(出所) 群馬県の企業実習生へのアンケート結果より